

7/27 福井

脱子ども貧困

下

子どもを核とした町づくりを
している。全この子どもに対し、行
政と地域が連携し、みんなが応援
するというのがコンセプトだ。貧しい
家庭の子どもだけでなく、誰ひと
り見捨てずに支える。

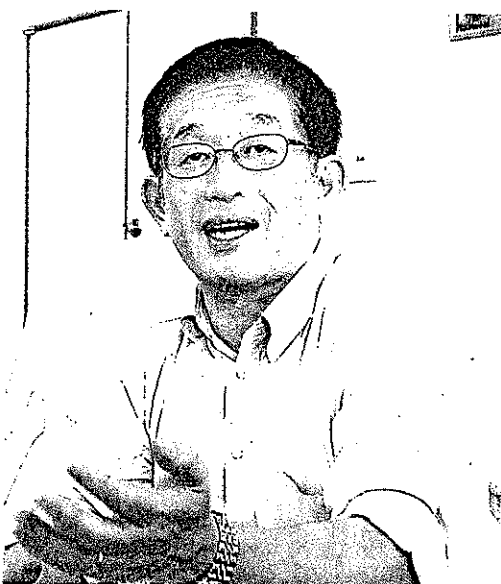
親の収入で線を引きいて支援をす
ると、こぼれ落ちてしまつ子がい
たり、どこで線引きをするかで議
論が複雑化したりする。明石市は
中学生までの医療費と第2子以降
の保育料を無料にしているが所得
制限はしていない。

相談のチャンスが失われると、
問題は長引きやすい。支援は早期
に、継続的にすることが大事だ。
今年1月から、市が把握した妊婦

全員への面談を始めた。早くに親
の困り事を知り、フォローする。
また児童手当は漫然と振り込ま
ず、乳幼児健診などで本人の健康
が確認できるまでは支払わない仕
組みだ。

子ども食堂は、小学校区ごと
に1カ所できるように整備してい

兵庫・明石市長 泉 房穂氏



政治の貧しさが原因だ

子どもが目線に立てば、市内
に1カ所程度では通えない。20
19年春、市内に児童相談所を
設置する予定で、食堂と連携す
る仕組みをつくり、子どもの危
機にいち早く気付ける拠点とし
る。子ども食堂はブームのよう
行政の政策で、予算を向に振り
分けるかは「選択と集中」と言わ
る。

いずみ・ふさほ 53歳。明石
市生まれ。東京大卒業後、NH
Kディレクター、衆院議員、弁
護士などを経て、2011年よ
り現職。

れる。子どもについては「あれか、
これか」ではなく、「あれも、こ
れも」必要だ。子どもの貧困とい
うのは、子どもを貧しさに追いや
っている政治の貧しさの表れだと
言える。

明石市では、他の市に比べて
子ども施策に予算を投じている。
結果として、人口は増加に転じ、
新たに生まれる赤ちゃんが増え、
税収も上がった。子どもにしかか
りとお金を使うことは町の未来
のためにもなる。予算をシフトす
ることで、子どもたちが救われ
る。

させているほか、障害者施策に
も力を入れている。人口は2014
年以降、4年連続で増加し、17
年7月時点で29万5296人。子ども
の出生数も15年以降、2年連
続で増えた。市によると、20代
～30代の子育て世代の流入が進
んでいる。18年度からの中核市
移行を目指している。

一口メモ

兵庫県明石市は瀬戸内海に面
し、大阪市や神戸市に通勤する人
のベッドタウン。子どもの医療
費の無料化や教育環境の整備な
ど、子育て世代への支援を充実